



①関西大学・関西学院大学合同の発掘調査で出土し、関西大学が保管していた遺物（特別展で展示）②土器の3Dモデル。スマートフォンなどで360度の観察が可能③弥生時代の竪穴式住居の発掘調査の様子

さかねどうたく
▲栄根銅鐸（複製）
 祭祀に使われたもので、元は鐘のように音を鳴らしていたものが、徐々に巨大化していったと考えられている。高さ114センチと全国でも有数の大きさを誇る。

せつつかも
▼「摂津加茂」
 関西大学と関西学院大学が合同で発掘調査を実施し、昭和43年に調査結果を報告書「摂津加茂」として発表。弥生時代中期を中心とする集落遺跡として、加茂遺跡が全国的に注目を浴びた。



約2,000年前の弥生時代中期に発展した大集落

加茂遺跡

史跡指定20周年

問い合わせ 社会教育課 ☎ 072(740)1244

加茂遺跡史跡指定の歴史

加茂遺跡は、市南部の台地上に位置する近畿地方有数の大規模集落遺跡で、最盛期の規模は東西800メートル、南北400メートルを誇ります。大正4年に鴨神社周辺で多数の弥生土器や石器が見つかり、その存在が広く知られました。昭和27年～33年にかけて、関西大学と関西学院大学が学生を率いて初めての発掘調査を実施。その調査結果は昭和43年に「摂津加茂」として報告され、弥生時代中期の集落遺跡としての特徴が明らかになりました。

昭和40年ごろからは住宅開発に伴い、市教育委員会が発掘調査を行いました。以後、平成4年には弥生時代中期の方形区画を伴った大型掘立柱建物跡を検出。平成6年には斜面環濠が検出され、集落の守りが固かったことが判明するなど、遺跡の歴史的重要性が高まりました。これらの価値が評価され、平成12年に遺跡の一部が国史跡に指定されました。

史跡指定20周年を記念した催しを開催

特別展として、12月26日(日)まで市文化財資料館で、「摂

津加茂遺跡里帰り展」が開催されています。展示品の一部は3Dモデルを作成しており、展示室の2次元コードをスマートフォンなどで読み込めば360度の観察が可能です。

また、11月6日(土)にみつなかホールで、「加茂遺跡と弥生大規模集落」をテーマにしたシンポジウムを開催。近畿地方の他の弥生時代大規模集落と比較し、遺跡の評価やこれからの整備と活用について考えます。各催しについて、詳しくは市ホームページ(右の2次元コードからアクセス可)で確認してください。

特別展はこちら

シンポジウムはこちら

弥生時代にふれる秋の遺跡巡り 加茂遺跡弥生のムラ スタンプラリー

市教育委員会が、文化財ボランティアガイドの会と加茂遺跡クラブとの共催でスタンプラリーを開催。加茂遺跡内や鴨神社、宮川石器館などを回り、ゴールした先着200人に記念品を進呈します。

日時＝11月27日(土)午前10時～午後3時（2時まで受け付け）
 ▷場所＝市文化財資料館（スタート地点）
 ▷内容＝遺跡の解説や火おこしなどの体験
 ▷その他＝警報時は中止▷問い合わせ＝社会教育課 ☎ 072(740)1244

CHECK & QUIZ 次の空欄(○の中)を埋めてください。

1：特集 ずっと○える公共施設 2：式典はオンラインでも○継
 クイズ正解者の中から図書カード(1,000円分)を5人に差し上げます(正解者多数の場合は抽選。当選者のみに送付します)。応募方法：市ホームページ(右の2次元コードからアクセス可)から必要事項を送信するか、はがきにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、興味のある記事と感想を書き、11月10日(水)(消印有効)までに〒666-8501・広報広聴課「クイズ」係へ。
 ※10月号の正解は(叶)(音)で、112件の応募がありました。



9月末現在の人口

男	73,586人	(+4)
女	82,284人	(+5)
計	155,870人	(+9)
世帯数	70,774世帯	(+37)

